



## CSRに関するグループ基本戦略

大和証券グループ中期経営計画「Passion for the Best」2008より抜粋

ステークホルダーとのコミュニケーションをこれまで以上に積極的に行い、社会的評価の向上を図るとともに、経済社会の健全な発展に貢献する。

**経済・金融教育** 教育機関・NPO等との協力を通じ、産学連携による教育・研究分野への支援、経済教育の普及活動を推進する。

**社会的責任投資** SRIの普及を促進させる。

**環境関連** 環境方針の策定等の環境マネジメント体制の構築を、「国内主要会社→国内連結子会社→海外子会社」の順に段階的に実施する。

## 2008年度の目標と主な行動計画

社会から求められる企業のあり方についての最新情報を経営に反映することを目指し、経営陣と社外の有識者によるステークホルダー・ダイアログを2008年度より実施します。

ビジネスを通じたCSR活動への取組みを加速すべく、従業員のCSRについての意識向上に取り組みます。

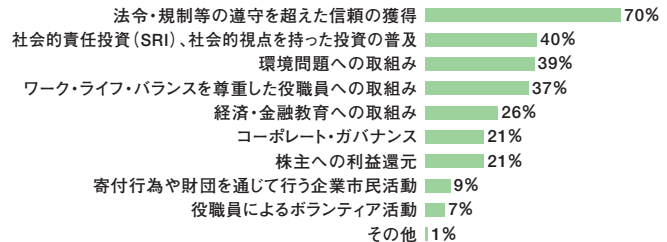
グループをあげての社会・環境関連ビジネスへの取組みを強化するため、関連部署間の情報連絡を密にします。

## CSRに関する役職員アンケート結果

大和証券グループでは、役職員のCSRにかかわる意識の現状把握、またアンケートを機会としたCSRに対する意識啓発を目的として、全役職員を対象にCSRアンケートを実施しています。2008年度は5月に、グループ全役職員18,278名（派遣社員・アルバイト等を含む）を対象にアンケートを実施し、11,882名（65.01%）から回答がありました。以下、アンケート結果の一部を報告します。大和証券グループは、これらの結果を真摯に受け止め、今後のCSR活動の広がりを目指します。

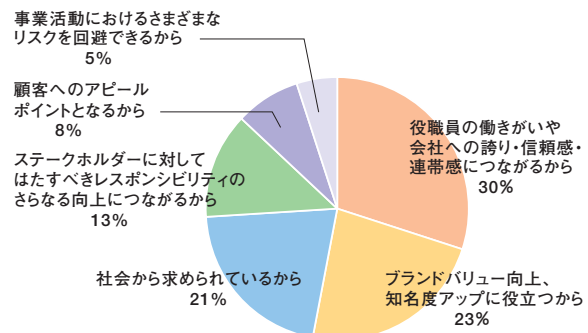
### 大和証券グループのCSR活動において、特に重要だと思う事項は何ですか？（複数回答）

「法令・規制等の遵守を超えた信頼の獲得」が70%となりました。「社会的責任投資（SRI）、社会的視点を持った投資の普及」が40%（2007年度35%）、「環境問題への取組み」が39%（2007年度22%）とそれぞれ比率を上げています。



### 大和証券グループがCSRを推進する理由は、何だと思えますか？

2007年度との比較では、「ステークホルダーに対してはたすべきレスポンスのさらなる向上につながるから」という選択肢を追加しているためデータの連続性はありませんが、「働きがいや会社への誇り・信頼感・連帯感につながるから」が30%と最も多く、「ブランドバリュー向上、知名度アップに役立つから」が23%、「社会から求められているから」が21%となりました。



### 今後、社会的責任投資（SRI）を日本でさらに普及させるためには何が有効だと思いますか？

「SRI商品（社会的視点を持った金融商品）の開発」が28%と最も多く、「投資先企業の環境面および社会的な取組みについての情報発信」が25%となっています。続く「メディアを通じた広告の活用」23%、「従業員研修の拡充」17%と比べて、日々の業務に直接関係する項目が多く選ばれています。

